

※ 6月の家庭菜園

<6月上旬 ~ 6月下旬>

<丹波黒大粒大豆>

株間は40cmにして下さい。

高級食材としておなじみの丹波の黒豆です。

若莢は枝豆として完熟させると極上の味が楽しめます。

<6月中旬 ~ 7月上旬>

<丹波大納言小豆>

株間は40cmにして下さい。

赤いダイヤと言われ、その味、大きさがすばらしい、小豆のブランド品質です。

あん、羊かん、ゼンザイなどいろいろ利用して下さい。

<ねぎを作ろう>

栄養価は他の野菜と比べると低いが、料理の名脇役としてのねぎの利用は非常に高く、さらに薬味として効果がある上に周年栽培の可能な大変作りやすい野菜です。

作型 ⇒ 収穫時期を考えて種まきをします。

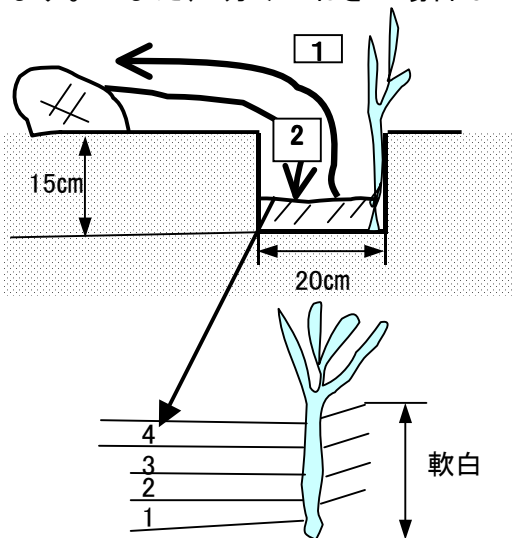
	種まき		定植		収穫
夏ねぎ どり	10月下旬~12月	⇒	3月下旬~5月	⇒	8月~10月
冬ねぎ どり	2月~4月	⇒	6月中旬~7月中旬	⇒	11月~3月下旬
春ねぎ どり (晩生ねぎ)	3月~4月	⇒	7月	⇒	3月下旬~4月下旬
初夏どり	(株ねぎ、坊主しらず、株分け)		6月中旬~7月	⇒	5月上旬
万能葉ねぎ	トンネルを利用すれば周年栽培が出来ます、種まき後2ヶ月~3ヶ月後に収穫になります				
ワケねぎ	球根		8月中旬~9月下旬	⇒	11月~5月頃まで

<栽培方法>

ねぎの作型で一番多い冬ねぎの方法を説明します、但し、夏ねぎ、春ねぎも栽培方法は同じです。

定植は6月中旬~7月中旬頃で根深ねぎ(30cm~35cmの軟白部分)を作るために圃場作りに気をつけて下さい。

畦巾 80cm~90cm、溝巾20cmぐらいで溝の深さは15cmぐらいにし、株間は一本ねぎの場合3~5cmに植えます。また、分けつねぎの場合は10cmに一本ずつ植えて行きます。



① は鍬で溝を掘上げ苗を植え付けます。

② は3cm~5cm程度、掘上げた土で溝を埋めます。

その時一度に深く埋めないでねぎが伸びたら葉の下まで何度か繰り返して土寄せして白根を作ります。

<大葉にら>

4月~6月下旬頃に種まきし、10月上旬~下旬にかけて定植し、収穫は来春頃から出来ます。